

2024年8月発行(年3回)
通巻132号

建設雇用と改善
TOKYO

2024・8
No. 132

都内の建設業に働く人の「雇用・労働・安全」関係の情報誌【テラ】

Terra

Employment & Improvement of the Construction Corporations



声掛けと思いやりで無事故無災害

都営住宅4H-109東(足立区谷在家三丁目)工事
〔株式会社 第一ヒューテック〕

みらいをつくる 建設×女性力

鎌田瑞希さん
〔片倉建設 株式会社〕

明日を担うづくり

株式会社 アイ・エス・エス

(橋梁・建築エンジニアリング、コンサルティング、デザイン)

これだけは知っておきたい

都内の建設業労働災害、死亡者数3年ぶりに減少

■現場で使える天気予報
■News Digest

■TOKYO 名所ウォーキング
■東京労働局からのお知らせ



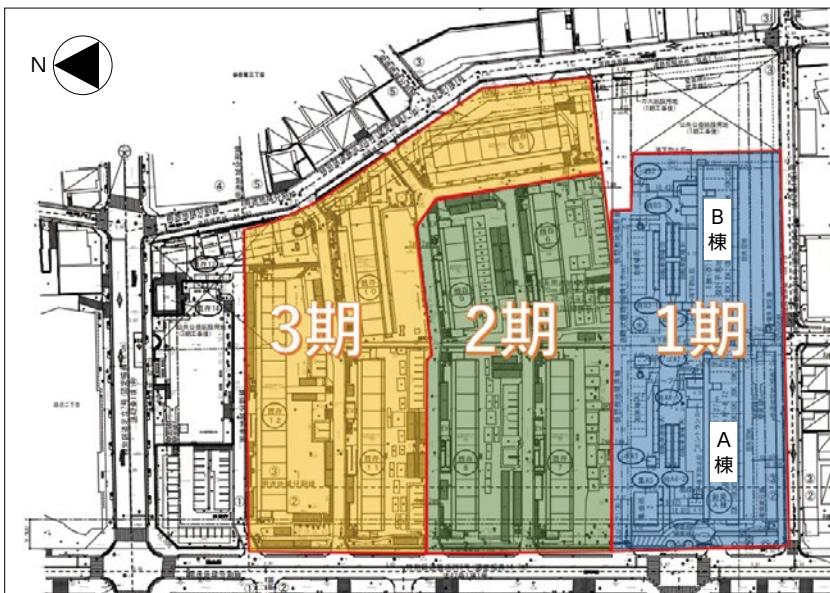
谷在家三丁目団地A棟のイメージパース (基本計画段階)

現場訪問
あんぜん
 最前線

都営住宅4H-109東(足立区谷在家三丁目) 工事

声掛けと思いやりで 無事故無災害

施工場所 ▶ 足立区谷在家三丁目22番 発注者 ▶ 東京都
 設計者 ▶ 東京都東部住宅建設事務所 施工者 ▶ 株式会社 第一ヒューテック
 工期 ▶ 2023年3月1日～2024年10月16日
 規模 ▶ 鉄筋コンクリート造6階建て 延べ3,164㎡



東京都は昭和40年代に建設した都営住宅を中心に年間4,000戸程度の建て替えを実施している。足立区にある谷在家アパートもその一つだ。老朽化した住棟12棟を解体して新住棟を7棟程度建設する事業で、現在は1期事業としてA棟とB棟の新築工事が進む。A棟の建築工事を手掛ける(株)第一ヒューテックの現場を訪れ、安全管理や労働環境づくりの取り組みを取材した。

📍建て替えは3期に分けて行う

谷在家アパートは日暮里・舎人ライナーの谷在家駅から約210mの静かな住宅街の中にある。約28,000㎡の敷地に1970年竣工の12棟で578戸を供給していたが、老朽化が進んでいるため3期に分けて順次建て替える。進行中の1期事業では、敷地南西にあった2号棟と3号棟を解体した跡地にA棟を、敷地南東の1号棟と4号棟を解体した跡地にB棟を新築している。

このうちA棟は躯体が立ち上がってきており、5月末の取材時は5階床部分の配筋工事と1～2階の内装工事を行っている最中だった。現場所長を務める(株)第一ヒューテックの山中勇治朗さんによると進捗率は約43%。作業は順調だという。



①(株)第一ヒューテック 現場所長 山中勇治朗さん



②デジタルサイネージなどで近隣住民に工程をお知らせしている

休憩時間と声掛けで 熱中症予防

工事が始まった昨年の夏は例年よりも猛暑日が多かった。ちょうど杭工事など屋外での作業を進めて

いた時期に当たる。現地は開けた更地のため日影がない。休憩所に製氷機を置いたり、現場に送風機を設置したりして熱中症対策を講じていたものの、作業中は強烈な日差しの下に長時間さらされることになる。

そこで、「工程を調整して休憩時間を創出」するなど工夫した。例えば、杭工事では、作業の開始時間を早めて、掘削から鉄筋かごの挿入、生コンクリートの投入まで連続的に行う作業の合間に休憩時間を設け、日差しを浴び続けることがないように配慮した。

また、躯体の最上部にカメラを設置して、タブレットなどで現場をリアルタイムで把握できるシステムを導入。どこにいても作業の進捗や職人の様子が分かり、重宝しているという。



③躯体が5階まで立ち上がっている



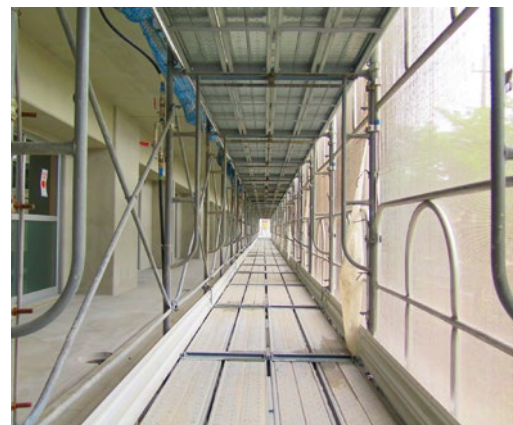
④5階床の配筋工事の真っ最中だった



①日影がないため、杭打ち工事で熱中症対策に工夫を凝らした



②内装工事が本格化すると1人の作業が増える



③仮設足場の通路を遮るものは全くない

今年の夏も平年より気温が高くなるとの予報が出ている。上棟すれば日差しの下での作業は少なくなるが、作業員が住戸内で一人きりになる内装工事などが本格化する。「定期的に巡回して声を掛け、顔色を確認しながら、体調の把握に努めたい」と気を引き締める。

きれいな現場へ率先

安全管理に関する山中所長のモットーは、「現場をきれいに保つ」ことだ。通路に材料や機材などが置かれていると転倒の原因にもなりかねない。かつての現場でそのことを痛感したという。

仕事に集中しているときは、どうしても視野が狭くなりがちだ。「動線をしっかりと確保しておくことが大切」なため、不要材があれば片付けるよう指示を出すなど、自らが先頭に立って指導する。

外国人技術者が活躍

現場ではマレーシア出身の女性所員リー・イーリンさんが活躍している。本国の大学を卒業後に来日し、国立大学の大学院で建築を専攻。もっと学びたいとの思いから、3年前に(株)第一ヒューテックに就職した。

ここが3件目の現場で、着工のタイミングから携わるのは初めて。「知らない作業ばかりで毎日が勉強。大変ですが、やりがいもあります」と前向きだ。

女性の声を環境づくりに反映

作業員を含め、これまで7人ほどの女性が従事。働きやすいようにと、現場事務所の2階に女子トイレを用意するとともに、別棟のエアコン付き女子更衣室を建てた。

女子トイレの設営に当たりヒアリングを行ったところ、「入る時に視線を向けられるのが気になる」との声が上がった。このため、現場事務所にいる所員からは見えないようパーティションでフロアを仕切った。山中所長は、「女性の視点や気持ちは教えてもらわなければ分からなかった」と振り返る。

声掛けに代表される日頃からのコミュニケーションと思いやりが安全で働きやすい現場を実現する。山中所長と所員、作業員は無事故無災害での完成に向けてきょうも歩み続ける。

④(株)第一ヒューテック 工事本部 工事部
リー・イーリンさん





現場をきれいにしようさまざまな場所で注意喚起



現場事務所の2階。パーティションで奥からの視線を遮っている。右手に女子トイレがある



エアコンが付いた女子更衣室

現場で働く人々

たかち
有飛智建工 **奥村 亮太さん** とび工
(おくむら・りょうた)

工事中は建物が見えず、外部の足場が地域の方の目に入ることになりますので、こだわりを持って美しい足場となるよう心がけています。持ち込む材料が多いため、職長として他の業種の方々の作業スペースに配慮して、調整を行いながら作業を進めることが大切だと思っています。



大高設備工事(株) **細川 玲緒菜さん** 設備工事
(ほそかわ・れおな)

給排水工事の現場管理を担当しています。仕事を始めて10年ほどたちました。この現場もそうですが、最近は女子トイレや更衣室が設置されるなど、女性にも働きやすい環境が整ってきているように感じています。熟練の職人さんともコミュニケーションをしっかりと取りながら務めていきたいです。

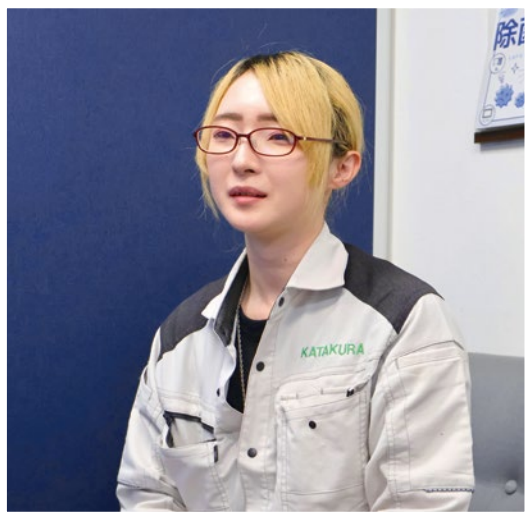
(株)中山工業 **中山 潤子さん** 鉄筋工
(なかやま・じゅんこ)

クレーン運転手に合図をして鉄筋を作業スペースに仮置きする仕事をしています。重い鉄筋を取り扱うのは疲れますので、職人さんが効率よく作業できるように、その場で使うものは作業スペースの近くに降ろすなど工夫しています。クレーンの吊荷が人と接触することがないように、安全には細心の注意を払って合図をしています。



～みらいをつくる～ 建設×女性力

〈上下水道工事〉
片倉建設 株式会社 (世田谷区)
鎌田瑞希さん
(かまた・みずき)



活発さと柔軟性で現場の前線に立つ

「現場を囲む仮囲いの中でどんなことが行われているのだろう」。幼い頃から工事現場が好きで、通るたびに想像を膨らませていたという。下水道管の更生で多くの実績を持つ片倉建設(株)に入社し、現在は東京都下水道局発注の「荒川区西日暮里六丁目、北区田端新町一丁目付近再構築工事」に従事する。

周囲に気を遣わせないフランクな性格は、仲間と親睦を深める上でも、仕事を覚える上でも生かされている。体格や心理的な観点から感じ取れる男女差に負い目がないわけではない。それでも「下請けさんとの壁をなくした良好な関係の構築に日々考えを巡らせている」という繊細さと、「地域住民との対話には積極的に前^{かたつ}に出て対応している」という闊達さは、現場になくてはならない存在になりつつある。こうした仕事ぶりが高い評価を受け、現場所長の推薦で2023年度にCCI東京(東京都魅力ある建設事業推進協議会)の若手・女性活躍大賞を受賞した。ユニークで腕利きな現場所長は、鎌田さんが最も尊敬する人だ。



機材の稼働状況を入念にチェック



仲間と作業工程を確認

入社当時から携わってきた現場は今年10月に竣工を迎える。以前は外側から眺めるだけだったが、「内側に立つことで騒音・振動対策など周辺住民の方々への細やかな配慮を徹底しつつ、工程に沿って進める大変な仕事であることが分かった」と振り返る。しかし、それ以上に「多くの人の生活を支えるインフラ整備に関わっていることを誇りに思う」と微笑む。

当面の目標は1級土木施工管理技士の資格取得。将来は「知識と経験を身に付け、現場所長のような背中を追われる存在になりたい」。これからも夢への歩みを続ける。

現場で使える天気予報

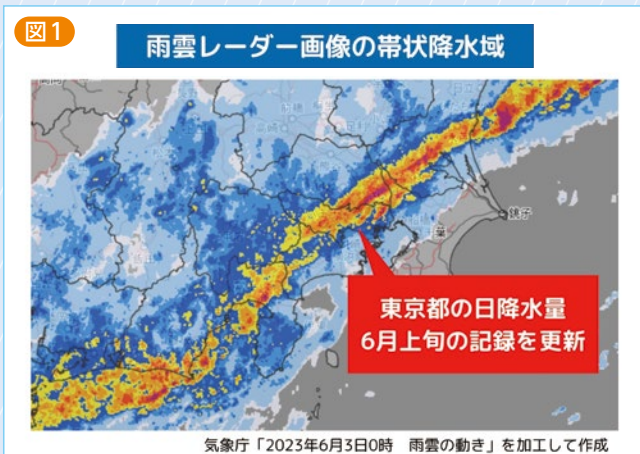
第16回



線状降水帯の予測エリアが詳細に！ 大雨シーズン前に見直すべき対策は？

株式会社 ライフビジネスウェザー 気象予報士 西村 尚貴 (にしむら・なおき)

これから秋にかけては、大雨による災害が毎年のように発生しています。昨年2023年6月1日から3日は、梅雨前線に向かって台風2号周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、関東地方も梅雨入り前に大雨となりました。この影響で、関東甲信地方では、線状降水帯の予測に関する情報が初めて発表されました(図1)。東京都心のアメダスでは、日降水量が6月上旬の記録を更新し、最大で1時間30mm以上の激しい雨を観測しました。

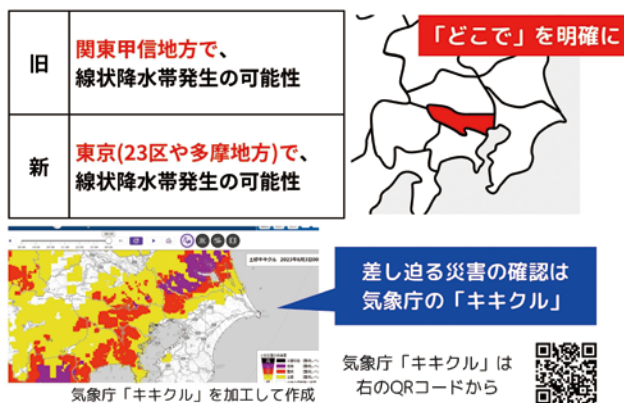


線状降水帯とは、積乱雲が発生や発達を繰り返しながら列をつくり、幅約20~50km、長さ約50~300kmで带状の降雨域です。ほぼ同じ場所で数時間、雨脚の強い状態の続くことがあるため、線状降水帯が発生すると、土砂災害や低い土地の浸水、川の増水や氾濫といった大雨災害の危険度が急激に高くなるおそれがあります。電気やガスといったライフラインへの影響のほか、道路が土砂崩れで通行止めになることや、橋が寸断される可能性もあり、時には人命を奪われることもあります。

気象庁では、大雨災害に対する心構えを一段高めることを目的に、線状降水帯の発生する可能性についての情報を半日程度前から発表しています。近年、予測の精度を高めるための取り組みも加速していて、これまでは予測対象が地方単位(例：関東地方)と広域でしたが、今年の5月27日からは予測の対象が府県単位(例：東京地方(23区や多摩地方))に狭めた運用が開始されました。新しい運用のもとで情報が発表された場合、身近な場所で大雨災害による危険度が高まっていることを意味しますので、防災意識をより高めて行動する必要があります。

現場で出来る大雨対策としては、排水設備の点検や法面の保護があります。また、差し迫る災害を確認するために、気象庁で公開されている「キキクル」を活用すると良いでしょう。色分けで警戒レベルが見やすく表示されています(図2)。安全な避難行動に移ることができるように、現場ごとに非常用備品や避難経路などの確認を今一度見直しておきましょう。

図2 線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ



自主性を生かした社員による社員のための社内変革

同社は橋梁構造設計を手掛ける企業として1989年に創業した。橋梁メーカーからの転職組が多かったが、近年は新卒の採用を強化しつつある。「Z世代の消極性は減点主義的な現在の社会構造が影響している。いかに能力を引き出し、活躍させ得るかは受け入れる企業の自助努力にかかっている」。丸山明社長は若手社員を冷静に分析しながら、働きやすい職場環境の構築に努めてきたという。では、いかにして若手のやる気を生み出すのか。そこには社員の自主性を重んじた独自の取り組みがあった。



丸山明社長 (株)アイ・エス・エス

これまでと、これから

「ヒトを大切にしたい」。創業者の中村裕司氏が残した言葉だ。その思いを受け継ぎ、今では約200人の社員を抱える企業に成長した。構



新卒採用イベント時の出展ブース

造設計を主な業務とする企業が減少しつつあった中、同社は海外に目を向け、現地で働ける人材の採用を強化した経緯がある。この分野での地位を少しずつ固めていったといえる。鋼製橋梁の設計は国内外で6000橋以上の実績を持ち、現在はインフラ施設の資産管理(アセットマネジメント)、建築・耐震設計なども手掛け、技術を融合させた業務の拡充に成功、売り上げも順調に推移している。社会的に人材の需要構造が変化しようと設計技術者の必要性は高い。2016年度以降、積極的な新卒採用を進め、本年度も4人の新卒者を採用した。

みんなで働き方改革

社内に営業部はなく、経理部や人事部など間接部門で働くスタッフが圧倒的に少ない。それらの業務は全国の拠点や部署、年齢や役職の垣根を越えて全社横断的な委員会を組成し、全社統一で決めたルールに基づき活動している。委員会はDX推進やシステム管理、社内教育企画実行、採用プロジェクトなど多方面にわたる。決して強制ではない。それでも、各委員会に若手が積極的に参加し、意見交換や活動を通じ実現させた事例は数多いという。オンプレミスからクラウドへの社内情報システム変更、社内教育と新人教育のマニュアルづくり、インフラメンテ

ナンスの価値を一般に広めるための清掃活動、新入社員の採用決定に至るまで、委員会を通じた社内変革が着実に根付いている。こうした全員参加型の取り組みは、一人一人が会社の運営について考える機会につながり、帰属意識を高める効果を生み出している。

会社の流儀

部署間の垣根は低い。また、一つの分野で突出した“一流”の技術を身に付けるのではなく、二つの分野で二流技術を体得する『複合二流技術』を社員に推奨している。土木設計と建築設計の両方の技術に精通した社員も多く、様々な業務にトライできる環境にあるのも特徴だ。技術者や建築士、土木施工管理技士など多種多様な有資格者が在籍し、資格取得を目指す社員には手厚いサポートで後押しを続けている。

大切にしていること

創業者が残した“ヒトを大切に”する企業であり続ける”ために、『人間として「かくあるべし」』と願う態度』『他者に対して示す態度』『仕事に対する態度』の三つの“態度”を理念に掲げる。人間として謙虚に感謝と反省を忘れず、会社人として常に他者の心情を考え、技術者として学習意欲と情熱を持ったプロフェッショナルな態度。このスタンスは変わらない。

若手への対応

丸山社長が心掛けるのは脱昭和スタイルだ。自身も橋梁メーカーからの転職組だが、若かりし頃は左手でタバコ、右手にペンを持ち凶面に向かっていたこともあった。今では信じられないことが当たり前前の時代。しかし、減点主義的な社会構造が影響し、多くを求めない今の若者は、昭和を知る人間からみれば消極的にも映るようだ。前衛と後衛を務める社員がバランスよく配属され、それぞれの企業が活気に満ちた一昔と違い、入社する若者はほぼ後衛に回る傾向にあるという。それでも、前に出過ぎず、後



④ 広島支社の清掃活動の様子

ろに下がり過ぎでなければ、誰にも活躍の場を与えられるという。

メッセージ

建設業は変革の時を迎えている。別の視点で見れば過去とは違う建設業を創っていけるということでもある。拠点を置く地域ごとの特色や文化があり、働き方にもさまざまなスタイルがある。過去のイメージは、「受け入れるわれわれが自助努力で拭い去り、若者が魅力を見いだせる組織の構築を目指す」。

株式会社 アイ・エス・エス

会社概要

住所 ● 東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル2F

創業 ● 1989年

事業内容 ● 橋梁・建築エンジニアリング、コンサルティング、デザイン

関連会社 ● スバル興業 株式会社（親会社）、株式会社 アイ・エス・エス・アールズ

資本金 ● 1000万円

知っただけは… 都内の建設業労働災害

死亡者数3年ぶりに減少

Terra編集部

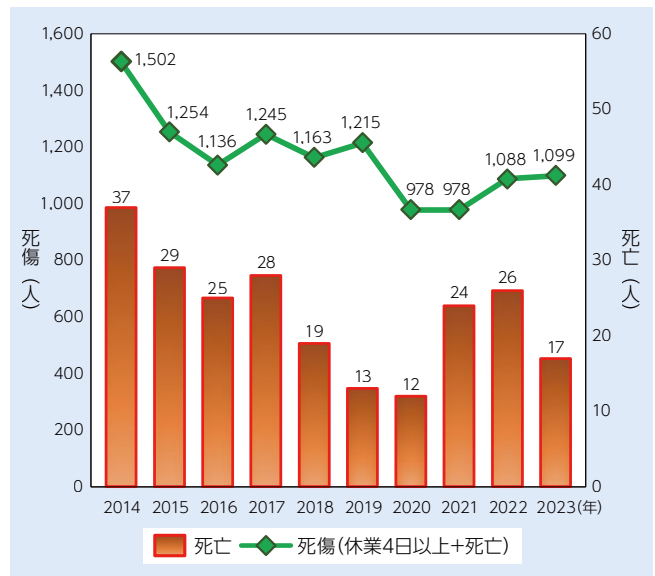
厚生労働省東京労働局のまとめによりますと、昨年の2023年に東京都内で発生した建設業労働災害による死亡者数は17人で、前の年の2022年より9人減りました。2021年以降増加を続けてきた中で、減少は3年ぶりです。一方、休業4日以上之死傷者数は1,099人で、こちらは前の年から11人増えて2年連続で増加しました。東京労働局は建設業界の取り組みが死亡者数の減少につながったと評価しつつ、熱中症や墜落・転落災害の多発を踏まえた対策の徹底を呼び掛けています。

「墜落、転落」が最多 熱中症で3人死亡

2023年に発生した建設業労働災害の状況を見ると、死亡した17人の業種は土木工事業が3人（前年比1人減）、建築工事業が11人（3人減）、その他の建設業が3人（5人減）で、いずれも前年を下回りました。事故の型別では「墜落、転落」の6人（8人減）を筆頭に、熱中症を分類する「高温・低温の物との接触」が3人（2人増）、「おぼれ」が2人（2人増）、「飛来、落下」が2人（前年と同数）などとなっています。

一方、死傷した1,099人の業種は土木工事業が189人（13人増）、建築工事業が698人（29人増）、その他の建設業が212人（31人減）で、土木工事業と建築工事業の増加が全体を押し上げました。事故の型別では「墜落、転落」が341人（6人増）で死亡と同様に最も多く、起因物は「はしご等」（124人）や「足場」（40人）、「トラック」（31人）などでした。これに「はさまれ、巻き込まれ」の116人（21人減）、「転倒」の112人（18人減）、「飛来、落下」の106人（22人）が続く他、「高温・低温の物との接触」の29人（12人増）のうち熱中症は24人（12人増）と全産業の中で最も多い状況です。また、死傷した人のうち112人は外国人労働者で、前年より23人増えました。

■ 過去10年間の建設業労働災害の推移（確定値）



■ 建設業労働災害型別・業種別状況（2023年）

事故の型	死亡 死傷	土木工事業		建築工事業		その他の建設業		全業種計	
		増減	増減	増減	増減	増減	増減		
墜落、転落	死亡	0	5 ▲4	1	▲4	6	▲8		
	死傷	33	3	232	13	76	▲10		
転倒	死亡	0	0	0	0	0	0		
	死傷	17 ▲8	77 ▲5	18 ▲5	112 ▲18				
激突	死亡	0	0	0	0	0	0		
	死傷	6	1	40 ▲3	12	0	58 ▲2		
飛来、落下	死亡	0	2	1	▲1	2	0		
	死傷	20	12	67	14	19	▲4		
崩壊、倒壊	死亡	0	1	0	0	0	1		
	死傷	11	4	30	9	8	1		
激突され	死亡	0	1	0	0	0	1		
	死傷	12	3	32	2	10	2		
はさまれ、巻き込まれ	死亡	0	0	1	0	1	0		
	死傷	40	1	59 ▲16	17	▲6	116 ▲21		
切れ、こすれ	死亡	0	0	0	0	0	0		
	死傷	14	▲1	53	3	9	▲11		
おぼれ	死亡	2	2	0	0	0	2		
	死傷	2	1	0	0	0	2		
高温・低温の物との接触	死亡	1	0	2	2	0	3		
	死傷	6	▲2	18	10	5	4		
感電	死亡	0	0	1	1	1	1		
	死傷	0	4	3	▲3	4	0		
交通事故（道路）	死亡	0	▲1	▲1	▲1	▲2	▲2		
	死傷	5	▲8	21	▲1	8	3		
動作の反動、無理な動作	死亡	0	0	0	0	0	0		
	死傷	14	0	54	5	24	2		
事故の型計	死亡	3	▲1	11	▲3	3	▲5		
	死傷	189	13	698	29	212	▲31		

※死傷は休業4日以上+死亡。死亡は死傷の内数。「事故の型計」の値は死亡0人の事故の型などを含む総計

7～9月に集中

死亡災害の事例からは発生時期が7月から9月に集中していることが分かります。ひときわ目を引くのは熱中症で、作業員や建設機械のオペレーターが発症して命を落としました。「墜落、転落」では鉄骨が落下して6人が被災し、うち2人が亡くなる事故もありました。

これらを受けて東京労働局は建設業界に対し、熱中症をはじめとした労働災害防止対策の徹底や鉄骨建方作業などの安全総点検を要請。10月以降に増加に歯止めがかかった格好です。

2023年の死亡者数が前年を下回った値で確定したことについて、東京労働局は「業界の取り組みの結果」と評価。具体例に▽フルハーネス型安全帯に関わる特別教育▽危険有害作業の無人化▽VRを用いた安全衛生管理活動などを挙げました。

熱中症、墜落・転落に重点

今年2024年の東京都内の建設業労働災害は5月末時点で死亡者数が1人（前年同期比1人減）、死傷者数が299人（22人減）にとどまっています。その中で東京労働局は夏場の気温が平年より高いとの予想などを踏まえ、5月に大規模な建設工事現場で熱中症対策に関する緊急パトロールを初めて実施するとともに、5～6月に大手建設事業者や建設業団体へ予防対策の徹底と発症時の適切な措置などを要請しました。

さらに、7月の全国安全週間に合わせた建設工事現場の集中的な指導では、死亡、死傷のいずれも最多を占める「墜落、転落」に重点を置くなどして各現場の取り組みを点検しました。

熱中症や墜落・転落災害をターゲットにした対策のチェックと改善、実行が、建設業労働災害を防止する上での鍵を握っています。

建設業死亡災害事例（2023年）

月	業種	職種		事故の型	発生状況の概要
		年齢	経験		
				起因物	
2月	建築工事業	解体工		飛来、落下	被災者がエレベーターの搬器上に倒れている状態で発見されたもの。搬器を吊っていたワイヤロープが切断したことにより、落下してきたカウンターウェイトに接触したと推測される。
		50歳代 5年以上 10年未満		エレベーター、リフト	
5月	建築工事業	とび工		激突され	くい打機（移動式クレーンに基礎工事用アタッチメントを取り付けたもの）を作業箇所へ移動させる際に、傾斜になっている箇所でごくくくい打機が横転し、車両が下敷きとなり車内で休憩していた労働者が死亡したものの。
		50歳代 30年以上		基礎工事用機械	
	土工		おぼれ	被災者が護岸から水中ポンプを川に沈める作業を行っていたところ、護岸端から川に転落したものの。	
50歳代 1年未満		建築物、構築物			
7月	土工事業	とび工		おぼれ	橋梁塗替工事において吊り足場の組み立て作業を行うにあたり、被災者が橋梁端部に取り付けられていた昇降はしごを降りていたところ、橋梁から約10m下の海面に墜落し、溺死したものの。
		20歳代 1年以上 5年未満		はしご等	
8月	建築工事業	作業員		高温・低温の物との接触	現場で資材の片づけ等を行っていた作業員が熱中症により亡くなったもの。
		40歳代 5年以上 10年未満		高温・低温環境	
		軽作業員		崩壊、倒壊	
20歳代 5年以上 10年未満		建築物、構築物			
建築工事業	防水工		墜落、転落	学校内1階食堂の屋根（2階相当）において、作業床の端に背を向けて防水シート貼り作業をしていた被災者が、作業床の端から墜落（約4m）したものの。	
	50歳代 10年以上 20年未満		建築物、構築物		
	車両系建設機械運転者		高温・低温の物との接触		水道管の布設工事において、午後には具合が悪いと申し立て、休憩していたドラグショベルのオペレーターが熱中症により死亡したものの。
60歳代 30年以上		高温・低温環境			
建築工事業	作業員・技能者	50歳代 30年以上		高温・低温の物との接触	現場において、養生、養生撤去、清掃等の業務に従事しており、ごみを屋外に運んでいた際に倒れ、熱中症により死亡したものの。
				高温・低温環境	
その他の建設業	設備機械工	50歳代 30年以上		はさまれ、巻き込まれ	小学校の給食配膳用リフトの改修工事において、搬器上部と2階荷取口の三方枠上部に腹部及び頸部を挟まれたもの。
				エレベーター、リフト	
9月	建築工事業	とび工		墜落、転落	現場において、7階梁用の鉄骨設置作業中、当該鉄骨が落下。鉄骨の設置作業のため鉄骨上に乗っていた作業員5名が約20m下の3階床まで墜落し被災。墜落した作業員のうち、2名が死亡。
		30歳代、40歳代 10年以上 20年未満		屋根、はり、もや、けた、合掌	
	その他の建設業	管理者		感電	業務終了後被災者が見当たらないため現場内を捜索したところ、現場屋上キュービクル内で倒れているのが発見されたもの。
20歳代 1年以上 5年未満		電力設備			
建築工事業	電工	70歳代 30年以上		墜落、転落	道路と現場を隔てる仮囲いを復旧するため、水平方向の単管パイプ同士を接続するためジョイントピンを差し込みようとしたところ、前方の開口部に被災者が倒れて墜落（約4m）したものの。
				開口部	
10月	その他の建設業	電工		墜落、転落	商品保管倉庫の屋根において、設置されていた太陽光パネルの点検作業を行っていたところ、プラスチック製の採光用屋根を踏み抜いて墜落（約9m）したものの。
		60歳代 1年以上 5年未満		屋根、はり、もや、けた、合掌	
11月	建築工事業	作業員・技能者		飛来、落下	建物の解体工事において、9階開口部（エレベーターシャフト）からコンクリートのガラが落下し、1階のエレベーターシャフト内でガラをかき出す作業をしていた被災者に当たったもの。
		30歳代 5年以上 10年未満		その他の材料	
12月	建築工事業	管理者		墜落、転落	工場のスレート葺き倉庫の屋根上に設置予定のソーラーパネルの設置箇所を被災者ほか1名で計測中、被災者が明り取り部分を踏み抜き、倉庫床に墜落したものの。
		60歳代 10年以上 20年未満		屋根、はり、もや、けた、合掌	

TOKYO 京

名所ウォーキング

インバウンドが爆発 外国人観光客は 東京をどう 楽しんでいるか

東京まち歩きライター

鈴木伸子 (すずき・のぶこ)

文筆家・東京まち歩きライター

雑誌「東京人」の元副編集長。

日々東京を徘徊中、執筆中。女鉄道マニアの修行中でもある。

著書に『シブいビル』、『山手線をゆく、大人の町歩き』など。

コロナ禍を経た日本、そして東京には今、史上最大数の外国人観光客が訪れている。東京中どこへ行っても、山手線に乗っても地下鉄に乗っても、そこは半ズボンにTシャツなどカジュアルな服装の外国人だらけ。

渋谷駅前のスクランブル交差点は、以前から人気の観光スポットだったが、昨今はさらに外国人が増え、一日中ライブ会場のような騒ぎだ。

その渋谷駅前で、最近行列ができてるのが、忠犬ハチ公像前。ここでハチ公と2ショット写真を撮るために、欧米、中国、イスラム圏、インドと世界中あらゆる国の人々が列を作って順番待ちをしている。

近年の旅の楽しみ方は、団体でバスに乗せられてお決まりのコースを巡るという従来型から、個人旅行、体験型に変化しているそうで、浅草を着物姿で歩く外国人も見かけるし、寿司やキャラクター弁当を作る日本料理教室が人気だったりもする。

そして、定着しているのが、街を自分で歩いて体験する“City Walk”というスタイルで、ネットで「Tokyo」「City Walk」で検索すると、皇居、隅田川など、いくつものおすすめのコースを見つけることができる。つまり、スマホさえあれば、言葉も地理もわからない東京を自分一人でも自由に観光できるようになっているということだ。

原宿駅の竹下通り口は、やはり写真を撮る外国人だらけ。表参道側に移動すると、通りをマリオ・カートが列をなして走り抜けていく。乗っているのは、もちろん全員外国人観光客。

一方では明治神宮に向かう人も多い。東京の今のカルチャーやトレンドだけでなく、伝統的建築である日本の宗教施設も観光先として人気があり、明治神宮のほか、靖国神社、上野の東照宮、根津神社、浅草寺などでも外国人の姿を多く見かける。



待ち合わせに最適？（渋谷スクランブル交差点）



↑人気店の前でパシャリ(築地)



↑家族でウィンドーショッピング(中野ブロードウェイ)



↑コスプレイヤーは注目的(原宿)

買い物天国・銀座、 グルメ天国・築地。

また、東京一の高級ショッピング街である銀座も、外国人観光客が目指す地となっている。

ここでは、彼らの主な目的はショッピングと食事。ルイ・ヴィトン、シャネル、エルメスなどのラグジュアリーブランドのショップ前には常に入店を待つ行列ができ、両手にそんなブランドの紙袋を幾つも提げている姿も見かける。国産のスニーカーブランド、日本の化粧品メーカーの店なども人気。近年、銀座は高級腕時計店街ともなっていて、そこでは数百万円以上の品をいくつも買っていく外国人客が多いという。円安日本においては、ここは30~40%オフの買い物天国。コロナ禍以前とはまた別の爆買い状況となっている。

街角では、老舗のとんかつ、天ぷら店や、稲庭うどん、ラーメンなどあらゆる店に外国人の行列ができています。ミシュラン星付きのフランス料理、寿司店などの高級店も外国人客に占有されている。

銀座から近い築地の場外市場も人気の観光地で、店先で立ち食いできる寿司、卵焼き、串焼きや、海鮮丼、ラーメンなどにも人が群がっている。

↓お目当て探しには不自由しない(銀座)



界限には、築地市場時代からの調理器具の店も多くあり、そんな店で外国人が購入しているのが、包丁。刀も同様だが、日本の刃物は工芸的にレベルが高い上、魂が宿っているように思われているのか、人気のみやげ品の一つになっている。浅草と隣りあう食器と調理道具の間屋街・合羽橋にも、近年は外国人観光客向けの包丁専門店が増えている。

世界各国のサブカルマニアが 目指す中野ブロードウェイ。

アニメ、マンガ、ゲームなどのサブカルチャーも日本が世界に発信する強力なコンテンツ。そんな分野のファンは、中央線・中野駅北口の「中野ブロードウェイ」を目指す。

中野駅前では何度も、テレビ東京の人気番組「YOUは何しに日本へ?」の外国人観光客へのインタビュー取材が行われているのを見たことがある。

中野ブロードウェイは、北口駅前からサンモール商店街を歩いていった先にある1966年築の商業ビルとマンションの複合建築。館内は、フィギュア、キャラクターグッズなどサブカルチャー各分野のヴィンテージ品を幅広く揃える「まんだらけ」の店のほか、現代美術家・村上隆がプロデュースするショップ、ゲーム、ガチャガチャ、コスプレや、占いなど、サブカルチャー関連の店が並び、ここを目指す外国人が多いということは、日本のおたく文化が、世界にかなり浸透していることなのだ実感する。実際、この館内を歩いている外国人は、銀座や渋谷を歩いている人々とは雰囲気異なる世界各国の“おたく”のようだ。

このように、外国人が集まる観光スポットには、人気があって当然という場所もあれば、日本人にとっては意外な場所もあり、そんな彼らの行動形態で、私たちが東京の新たな魅力を発見するということもある。

厚労省

7社の墜落制止用器具が規格不適合

5月

厚生労働省は、国家規格で定める要件を満たしていないことが分かった墜落制止用器具16点（フルハーネス型2件、ランヤード9件、胴ベルト型5件）を公表し、使用を中止するよう関係団体に通知しました。販売者に対しては製品の回収を求めています。

厚労省のまとめでは、2023年1～12月に発生した休業4日以上の死傷災害1万4,211件のうち、31.7%に当たる4,502件が墜落・転落でした。2022年から高所作業での墜落制止用器具の使用が原則化されましたが、2023年の死傷災害は0.7%減と横ばいとなっています。

依然として高い割合を占める墜落・転落災害の抑制に向け、国内で販売されている製品の買い取り試験を実施して、国家規格を満たしていない製品を公表。メーカー、ユーザー、販売業者などの関係団体に注意喚起のための通知を送りました。

厚労省

安衛則改正で一人親方の安全守る

5月

厚生労働省は労働安全衛生規則などを改正し、事業者に対して一人親方などにも危険防止措置を講じるよう求めます。個人事業者の安全を保護するための改正で、危険が発生する恐れのある特定の場所の立ち入りなどを禁止する他、その旨を見やすい箇所に表示することも求めます。2025年4月1日から改正省令を施行します。

改正する省令は、安衛則の他、ボイラー則、クレーン則、ゴンドラ則。立ち入り禁止や搭乗禁止、火気使用禁止、悪天候時の作業禁止、事故発生時の退避、特定設備の使用義務などに関する規定について、対象者を「労働者」から「作業従事者」に改め、作業従事者に作業を直接請け負わせる事業者に個人事業者らの保護措置を義務付けます。

東京労働局

熱中症対策の緊急パトロール

5月



パトロールする東京労働局の岡田労働基準部長（左）

厚生労働省東京労働局は月島三丁目北地区第1種市街地再開発事業（中央区）の工事現場で熱中症対策の緊急パトロールを実施しました。5～9月を期間とする「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の一環で、熱中症対策に重点を置いたパトロールは初。岡田直樹労働基準部長＝写真左＝らが場内を見て回り、施工者の五洋建設(株)が熱中症を防ぐために講じているさまざまな工夫を確認しました。

月島三丁目北地区の再開発では3棟・総延べ床面積14万9,450㎡の施設建築物を建設して、1,300戸を超える住宅や公益的施設、障害者グループホームなどを設けます。2026年6月の完成を目指しています。

現場では環境計測システムと黒球型携帯熱中症計を使って屋外・屋内の暑さ指数を把握するとともに、暑さ指数に応じた休憩時間などを作業計画で設定。また、扇風機や冷たい飲食物を備えた休憩エリアを複数箇所に設けたり、ファン付き作業服などの着用を推奨したりして作業員の熱中症予防に取り組んでいます。

岡田労働基準部長は「熱中症をはじめとした労働災害を発生させない決意の下、より一層の労働災害防止活動を展開して他の現場の模範になってほしい」と現場関係者を激励しました。

東京労働局長が安全衛生パトロール

7月

厚生労働省東京労働局の美濃芳郎局長＝写真右、当時＝は(株)竹中工務店が施工を手掛ける「大井町駅周辺広町地区開発（仮称）A街区」の建設現場で安全衛生パトロールを実施しました。全国安全週間（7月1～7日）に合わせて建設現場を集中指導する取り組みの一環。作業員らの安全の確保に向けたさまざまな活動を確認した上で、労働災害防止対策の徹底を呼び掛けました。

現場は品川区広町2丁目地内他。オフィスタワー、住宅ホテルタワー、アウトモール、広場棟で構成する総延べ床面積約26万㎡の施設を建てます。2025年度末の開業を予定しています。

作業員らの安全の確保に向け、日々の朝礼で新規入場者の装備を確認する他、大型の電子モニターを用いて作業内容などの情報を共有。墜落・転落災害を防ぐため、安全帯の掛け替え訓練や墜落制止用器具を使った落下実験による教育を実施中です。熱中症の予防に有効な氷のうの配備やかき氷の無償提供も行っています。

美濃局長は集まった作業員らを前に、「全ての関係者が『労働災害は本来あってはならない』との認識を共有することが大事。それぞれの立場で責任ある行動と取り組みの徹底をお願いしたい」と強調。その上で「他の建設現場の模範となるよう取り組みの推進を期待する」とエールを送りました。



2025年4月から事業者が行う退避や立入禁止等の措置について、以下の1、2を対象とする保護措置が義務付けられます

- 1 危険箇所等で作業に従事する労働者以外の人
- 2 危険箇所等で行う作業の一部を請け負わせる一人親方等

労働安全衛生法に基づく省令改正により、作業を請け負わせる一人親方等や、同じ場所で作業を行う労働者以外の人に対しても、労働者と同等の保護が図られるよう、必要な措置(※)を実施することが事業者には義務付けられます。

※労働安全衛生法第20条、第21条及び第25条、第25条の2に関して定められている以下の4つの省令で、作業場所に起因する危険性に対処するもの(退避、危険箇所への立入禁止等、火気使用禁止、悪天候時の作業禁止)について事業者が実施する措置が対象です。

- ・労働安全衛生規則
- ・ボイラー及び圧力容器安全規則
- ・クレーン等安全規則
- ・ゴンドラ安全規則

法令改正等の主な内容

1 危険箇所等において事業者が行う退避や立入禁止等の措置の対象範囲を、作業場で何らかの作業に従事する全ての者に拡大

危険箇所等で作業を行う場合に、事業者が行う以下の措置については、同じ作業場所にいる労働者以外の人(一人親方や他社の労働者、資材搬入業者、警備員など、契約関係は問わない)も**対象にすることが義務付けられます**。

- 労働者に対して危険箇所等への立入禁止、危険箇所等への搭乗禁止、立入等が可能な箇所の限定、悪天候時の作業禁止の措置を行う場合、**その場所で作業を行う労働者以外の人もその対象とすること**
- 喫煙等の火気使用が禁止されている場所においては、**その場所にいる労働者以外の人についても火気使用を禁止すること**
- 事故発生時等に労働者を退避させる必要があるときは、**同じ作業場所にいる労働者以外の人でも退避させること**

2 危険箇所等で行う作業の一部を請け負わせる一人親方等に対する周知の義務化

危険箇所等で行う作業の一部を請負人(一人親方、下請業者)に行わせる場合には、以下の措置が義務づけられます。

- 立入禁止とする必要があるような危険箇所等において、例外的に作業を行わせるために労働者に保護具等を使用させる義務がある場合には、**請負人(一人親方、下請業者)に対しても保護具等を使用する必要がある旨を周知すること**

重要

今回の改正で請負人への保護具等の使用に係る周知が義務付けられるのは、立入禁止とする必要があるような危険箇所等例外的に作業を行わせる場面に限られますが、それ以外の場面であっても、

- ① 作業に応じた適切な保護具等を労働者に使用させることが義務付けられている場面
 - ② 特定の作業手順や作業方法によって作業を行わせることが義務付けられている場面
- については、事業者が作業の一部を請け負わせた請負人に対して、保護具等の使用が必要である旨や、特定の作業手順、作業方法によらなければならない旨を周知することが推奨されます。



令和6年度「働き方改革推進支援助成金」 業種別課題対応コース（建設業）のご案内



令和6年4月1日に、建設業にも、**時間外労働の上限規制が適用されました。**

このコースは、生産性を向上させ、労働時間の削減や週休2日制の推進等に向けた環境整備に取り組む中小企業事業主の皆さまを支援します。ぜひご活用ください。

課題別にみる助成金の活用事例

企業の
課題

積算業務を効率化し、
労働時間を削減したい！

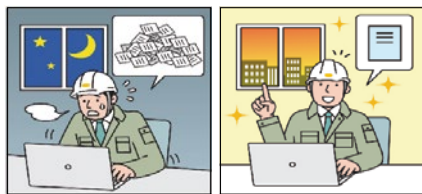
測量作業と重機操作を効率化し、
労働時間を削減したい！

助成金
による
取組

土木工事積算システムを導入

測量杭打ち機と
重機用センサーユニットを導入

改善の
結果



過去の類似工事との比較が容易になり、
より短時間で適正な積算値を算出できる
ようになった。



測量や杭打ち、重機の操作を1人で行
えるようになり、1日当たりの作業時
間が削減された。

生産性の向上を図ることで、働きやすい職場づくりが可能に!!

ご利用の流れ

「交付申請書」を、最寄りの
労働局雇用環境・均等部（室）
に提出
（締切：11月29日（金））

交付決定後、提出した計画に
沿って取組を実施
（事業実施は、令和7年1月
31日（金）まで）

労働局に支給申請
（申請期限は、事業実施予定期間が終了した
日から起算して30日後の日または令和7年
2月7日（金）のいずれか早い日となります。）

（注意）本助成金は国の予算額に制約されるため、11月29日以前に、予告なく受付を締め切る場合があります。



ご不明な点やご質問がございましたら、企業の所在地を管轄する
都道府県労働局雇用環境・均等部または雇用環境・均等室にお尋ねください。



申請書の記載例を掲載している
「申請マニュアル」や「申請様式」は、
こちらからダウンロードできます。



電子申請システムによる申請も
可能です。詳しくはこちら
（<https://www.jgrantsportal.go.jp/>）



(2024.4)

2024年8月発行（年3回発行）No.132

Terra —建設雇用と改善TOKYO—

発行：一般社団法人 東京建設業協会
建設労働者確保育成事業推進委員会

取材協力／建通新聞社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1

Tel 03-3552-5656（代表）

URL <https://www.token.or.jp/>

編集後記

6月半ばに親戚からサクランボが届きました。実を見た妻が「くっ付いているものが多いわね」。さほど気にとめず親戚にお礼の連絡をする
と、「今年は昨年の猛暑の影響で『双子』の実が多い」。小さな変化の背景にある地球規模の事態。気候変動の影響の大きさを改めて痛感しました。